

支援員の思い

本
田
和
也

私はライン工房でしょうがいを持つ方が作られた商品を営業、販売を行う役割を担っています。私が営業の業務を始めて8年目になります。学生時代は介護を学び、ライン工房に就職した当初からメンバーの支援を中心に携わってきた私にとって「営業」とは全くの別世界であり、無縁の存在でした。

また、その当時の私にとって「商品を沢山売りたい！」という意識は正直無く、「売れる商品はメンバーと商品を作った出来たしこ（出来た分だけ）で十分」とも思っていました。その様な私が営業職を任されることになり不安でいっぱい、「果たして私に営業は出来るのだろうか？」と思いつつも、口下手ながら自分なりに想いを伝え、営業・販売をしていきました。そして、少しずつ地域の方々がライン工房の商品の存在を知り、好きになっていただけることで、私自身のやりがいや喜びを感じていくことができました。こうして私自身の営業に対する意識も変わり、「もっと沢山の方に美味しいライン工房の商品を知っていただける活動をしていきたい！」また、そこから生まれる「メンバーのやりがい、メンバーへの給料となる工賃金額を上げていきたい！」と思うようになりました。

ライン工房では、天然酵母から作られたパン、種類が豊富なクッキー、独自の製法で仕上げた焼菓子、自家焙煎の珈琲と多様な商品があります。すべてにおいて一つ一つ丁寧にメンバーが思いを込めて仕上げた商品であり、少しずつではありますが販売店のレジ横やメーカーさんのイベント、置き菓子サービス「ほっとライン」でもご使用頂けるようになっております。

ただ単に、しょうがいを持つ方が作られた商品として見られることなく、純粋にライン工房の商品は美味しい！食べたい！と思っただけのような商品づくりをメンバーと共に日々考え、製造・販売していきます。

ぜひ一度、ライン工房の商品をご賞味ください！

ライン工房の商品に関する情報はホームページやこの情報誌「街の風」でも少しずつ紹介していきますね！

磯
部
朋
子

青空で計画相談を担当している磯部です。青空に配属されてもうすぐ3年となります。現在は、福祉サービスを必要としている方に対して、サービスのプランを立てたり、利用の調整をしたりという業務を行っています。プランを立てる際には、利用者さんの意思や出来る力を信じる事を大切にしています。その為、時間をかけて利用者さんに向き合う事や、納得いくまで説明や話し合いを行う事を心がけています。また、私自身の考えを押しつけていないか時々振り返りを行ったり、先輩方に助言をいただくようにもしています。

その他に、利用者さんの利用している福祉サービスの事業所の方々と連携も大切にしています。その中でも、特に気をつけている事は「良い事も伝える」という事です。何かあった時や困った時等は事業所さんに相談するのですが、良い事はその場で褒めて終わってしまう事が多い事に気づき、利用者さんの出来る事や頑張っている事も積極的に伝える事にしています。色々な方に出来る事や頑張っている事を知ってもらい声をかけてもらう事で、利用者さんの今持っている力を更に引き出せるのではないかなと思うからです。

私の立てたプランで今までよりも少し充実した生活が送れたり、日々の困っている事がちょっと良くなったり、皆さんの希望する生活に少しでも近づけるような支援をしていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。